

小西 純二 プロフィール概略

美術家、造形作家、デザイナー、美術・デザイン教育研究家

1953年、北海道江別市生まれ

1977年、能力開発大学校金属系塑性加工科卒業、能力開発機構の職業訓練施設にて金属加工、設計、デザイン、金属工芸の指導に携わる。1983年、東京芸術大学美術学部金工科彫金専攻にて短大教官研修後、青森県の能力開発短期大学校、技能開発センター等で講師を続け、1990年休職し渡豪、王立メルボルン工科大学(RMIT 大学)、美術デザイン学部金工科大学院に研究留学する。

1992年研究継続のため能力開発機構を退職、同大で講師として学生への指導を行うとともに修士、博士課程において研究を続け、1999年博士課程修了、2000年学位を授与される。

1985年より日豪をはじめ作品発表、国際ツアー展ではイギリス、シンガポール、中国、ベトナムをはじめ多くの国で発表されている。オーストラリアでは、1991年モーリントン・ペニンシラ・クラフト展大賞、1992年アーネット・リビティ・メモリアル・シルバー展大賞を受賞。

1998年作品がオーストラリア国立美術館に、1999年にはクィーンズランド州立美術館に買い上げ・所蔵となる。

2000年オーストラリアから帰国後、東京芸術大学、RMIT 大学美術学部間交流協定締結に携わる。2001年有限会社 J アートを設立しデザイン・創作活動を始めるとともに、2002年から2004年、2005年から2007年、南米コロンビア、カルダス大学、人文芸術学部造形美術科教授として国際協力機構より派遣となる。

2004年カルダス大学より名誉博士号、カルダス州政府より名誉勲章を授与される。

2007年名誉教授をカルダス大学より拝命する。

2009年南米チリの製造輸出業協会へ工業デザインの指導・支援のコンサルタントとして国際協力機構からの派遣となり2011年帰国、2014年まで北海道でアトリエを開設して活動した。

2014年脳梗塞のため、アトリエを閉鎖し、地元の江別に戻る。2016年まで療養し2017年活動再開に至る。

2017年、映像と芸術の振興財団主催、MAF 展において MAF 賞を受賞、2018年には同展において内閣総理大臣賞を受賞した。

今後は創作、デザイン活動の他、美術・デザイン・造形教育、国際文化・交流支援に取り組んで行きたいと思っている。